

# 社会科学学習指導案

日時 平成28年5月20日(金) 3校時  
児童 5年生  
授業者  
場所

## 1 単元名 「わたしたちの暮らしと国土～自然条件と人々の暮らし～」

## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元は、気候や地形などの自然条件が異なる地域に住む人々の暮らしの様子と、自分たちの住んでいる地域の暮らしの様子を比較しながら具体的に調べ、それらが自然条件と密接に関連していることを捉えられるようにすることをねらいとしている。そのため本単元では、自分たちの住む地域(釧路市周辺)と、「暖かい地域と寒い地域」から沖縄県、「高地と低地」から長野県の野辺山原を事例地として取り上げ、比較したり関連付けを図ったりすることで、自然条件に適応しながらくらししている人々の工夫や願いを具体的に調べていく。

### (2) 児童観

# 省 略

## 3 単元目標

気候や地形に特色ある地域の人々の暮らしや産業について資料を活用しながら調べ、自然条件に適応しながらくらししている人々の工夫や願いを知ることができる。

## 4 評価規準及び道徳的学び

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解	道徳的学び
ア気候や地形などの自然条件と、人々の暮らしとのかかわりについて関心を持ち、自然条件に特色のある地域の様子について意欲的に調べている。	ア気候や地形などの自然条件に特色のある地域の様子について、学習問題や予想、考えを記述している。 イ気候や地形などの自然条件に特色ある地域の様子について、人々の暮らしの工夫や産業を自然条件と関連づけながら考えたり、くらしをよくしようとする人々の思いや願いについて考えたりして、適切に表現している。	ア気候や地形などの自然条件に特色ある地域について、写真やグラフなどの資料から、自然条件の特色や人々の暮らしの工夫や思いなどを読み取っている。 イ調べたことを、思考ツールを活用しながら分類、整理してまとめている。	ア気候や地形などの自然条件に特色ある地域について、人々の暮らしの工夫や産業、抱えている課題や思いなどをとらえている。	3-(2) 「自然愛」 我が国の人々や自然環境を大切に、自然条件に適応しながら生活していることを知る。

5 単元の指導計画

時	主な学習活動	教師の働きかけ	評価
1	<p>・自然条件に特色のある地域の様子の違いを写真から読み取り、学習問題を立てて、調べる計画を立てたり、予想し合ったりする。</p> <p><b>○気候や地形に特色ある地域では、人々のくらしや産業にどのようなふうがあるのだろうか。</b> <b>(学習問題①)</b></p>	<p>□自然条件の違いが読み取れる拡大写真を資料として提示し、地域ごとの自然条件の違いに気付くことができるようにする。</p> <p>□釧路市の様子について既習内容を想起し、視点を整理して他の地域を調べる計画を立てることができるようにする。</p>	<p>関ア</p> <p>思ア</p>
2	<p>・沖縄の気候の特色や、気候に合わせた家づくりの工夫、農業や水産業について調べる。</p>	<p>□思考ツール（Xチャート）を紹介し、それを活用して、定めた視点をもとに集めた情報を整理・分類できるようにする。</p>	技
3	<p>・沖縄の文化・歴史の特色、現在抱えている課題などについて調べ、今まで調べてきたことをもとに、沖縄県の人々のくらしと自然環境との関わりについて考える。</p>	<p>□思考ツールに整理した情報をもとに、自然条件と暮らしや産業の工夫（結びつき）を確かめ、温暖な気候を生かしたくらしや産業の様子を捉えることができるようにする。</p>	<p>技</p> <p>思イ</p>
4	<p>・野辺山原の地形や気候の特色を生かしたくらしの工夫や産業の様子について調べる。</p>	<p>□沖縄と同じ視点を定め、それをもとに集めた情報を、思考ツール（Xチャート）に整理・分類できるようにする。</p>	技
5	<p>・野辺山原の人々の生活と自然環境との関わりについて考える。</p> <p><b>どちらの地域でも自然条件に合わせてたり、生かしたりしたくらしや産業の工夫があった。</b> <b>(問題解決①の解決)</b></p>	<p>□思考ツールに整理した情報をもとに、自然条件とくらしや産業の工夫（結びつき）を確かめ、高地の自然の特色を生かしたくらしや産業の様子を捉えることができるようにする。</p>	<p>技</p> <p>思イ</p>
6	<p>・釧路市周辺の暮らしや産業の様子を改めて見つめ直すため、学習問題を立てて、調べる計画を立てたり、予想し合ったりする。</p> <p><b>○釧路市周辺でも沖縄や長野県(野辺山原)と同じような工夫が見られるのだろうか。</b> <b>(学習問題②)</b></p>	<p>□2つの事例地の思考ツールを提示し、共通点を捉えられるようにする。</p> <p>□2つの事例地の特徴と釧路市周辺の様子を、改めて比較、関連づけて考えることで、それぞれの地域の自然条件に合わせてくらしや産業の工夫を捉えられるようにする。</p>	思ア
7	<p>・2つの事例地に共通する、人々のくらしや産業の工夫を中心に釧路市周辺の様子について調べる。</p>	<p>□前時までに見つけた2つの事例地に共通する、人々のくらしや産業の工夫に視点を整理して調べられるようにする。</p>	技
8 本 時	<p>・2つの事例地と釧路市周辺の様子を比較し、共通点に気付くことで、人々のくらしや産業と密接な関連を持っていることを捉える。</p> <p><b>自然条件は異なっている、それを生かしたり克服したりしながらくらしや産業に取り組む人々の共通する姿があった。</b> <b>(問題解決②の解決)</b></p>	<p>□前時までに見つけた2つの事例地に共通する、人々のくらしや産業の工夫が、釧路市周辺のくらしや産業の様子にも共通していることを捉えられるようにする。</p>	<p>技イ</p> <p>思イ</p>

6 小中連携の視点

	小学校 5 学年	中学校 2 学年
目指す子供の姿	自然条件の異なる地域でくらす人々の様子に関心を持ち、自然条件をもとに、その特色を追究することができる子供	世界と比べた日本の地域的特色に対して関心を持ち、地理的な見方・考え方をもとに、その(背景・課題を含む)特色を追究することができる生徒
手立ての視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習過程の選択の中で問いを連続させる単元構成の工夫。</li> <li>各地域の特色を探るため思考ツールを活用した交流の場の設定。</li> <li>社会事象を総合するための別の事象と出会う場の設定。</li> </ul>	世界と比べた日本の地域的特色を追究できる単元を貫く課題を設定し、批判的思考の観点から価値判断が分かれる課題を追究させ、社会認識を深めさせる。

7 研究とのかかわり

単元の序盤	<p><b>I 状況的興味の喚起・維持を促すため</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然条件の違いが想像しやすい拡大写真を資料として提示し、地域ごとの気候や地形の特徴に気付くことができるようにする。また、そこから想起できる生活の様子や産業についても関心を高め、調べる視点を定めることで学習問題の解決に向けた見通しを持つ。</li> </ul>	<p><b>I-(1) 内的活動の高まりを促すための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習内容をもとにして、釧路市周辺の生活の様子や産業について想起し、自然条件との比較、関連づけを図りながら意見を交流することで、他の地域を調べる計画を考えることができるようにする。</li> </ul>
	<p>○気候や地形に特色ある地域では、人々のくらしや産業にどのようなふうがあるのだろうか。(学習問題①)</p>	
<p><b>①社会的事象と出会い、自分とのかかわりを意識する子供</b></p>		
単元の中盤	<p><b>II 個人的興味の出現を促すために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事例地として沖縄県と長野県(野辺山原)について、課題解決に向けた学習過程を選択し、それぞれの視点に沿って、調べる計画を立てる。</li> <li>思考ツール(Xチャート)を紹介し、自然条件、産業、くらし、その他に分けて情報を整理、分類することで、それぞれの地域のくらしの様子について想像しやすくする。</li> </ul>	<p><b>II-(1) 個人的興味の出現を促すための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思考ツール(Xチャート)に整理した情報をもとに、自然条件から見たくらしや産業、その他への工夫(結びつき)を考える。</li> <li>沖縄県と長野県(野辺山原)の自然条件とくらしや産業について見つけた工夫(結びつき)について交流を通して比較、関連付けを図ることで、共通点に気付くことができるようにする。</li> </ul>
	<p><b>②予想や学習問題に基づいて問題解決を繰り返す子供</b></p>	
単元の終盤	<p><b>III 発達した個人的興味の出現を促すために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2つの事例地をもとに概念化された、自然条件から見たくらしや産業の工夫(結びつき)が、釧路市周辺でも言えるかを問い、同じ視点で調べ、比較、関連付けすることでこれまでに調べたことを、批判的な視点で見つめ直し、より確かなものにしようとする姿を引き出していく。</li> </ul>	<p><b>III-(1) 内的活動の高まりを促すための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2つの事例地をもとに概念化された、自然条件から見たくらしや産業の工夫(結びつき)と、改めて調べた釧路市周辺の様子を、比較、関連付けすることで、自然条件は異なっても、それを生かしたり克服したりしながらくらしや産業に取り組む人々の共通する姿に気付くことができるようにする。</li> </ul>
	<p>○釧路市周辺でも沖縄や長野県(野辺山原)と同じような工夫が見られるのだろうか。(学習問題②)</p>	
<p><b>③社会的な見方や考え方を成長させる子供</b></p>		

8 本時について（8/8時間目）

(1) 研究とのかかわり

本時においては、主に研究の視点とⅢとⅢ-(1)にかかわって、手立てを講じていくことになる。

手立てⅢでは、釧路市周辺の自然条件とくらしや産業の工夫（結びつき）を、既習の事例地の特徴を参考にして、釧路市周辺でも同じような工夫が存在していることについて、予想したり調べたりして、思考ツールを用いて整理し、分析する。

手立てⅢ-(1)では、前時までに見つけた2つの事例地の特徴と、釧路市周辺の人々のくらしの様子について共通点を探る活動を通して、それぞれ自然条件は異なっても、それを生かしたり、克服したりしながらくらしや産業に取り組む人々の共通する姿があることに気付かせたい。

(2) 本時の目標

2つの事例地の特徴と釧路市周辺の様子を比較し、共通点に気付くことで、自然条件が人々のくらしや産業と密接に関連していることを理解することができる。

(3) 本時の展開

○児童の主な学習活動	□教師の働きかけ・留意点 肯自己肯定感	評価 個に応じた指導 (△発展的 ▲補充的)
<p>○学習の流れと学習問題②を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">釧路市周辺と沖縄県や長野県(野辺山原)の人々のくらしの様子を比べよう。</p> <p>○釧路市周辺のくらしや産業の様子について調べた情報をもとに交流する。 暮らし方 →家の作り 遊び 祭り 産業 →酪農業 農業 水産業 観光業 サービス業 等</p> <p>○自然条件と暮らしや産業の工夫（結びつき）について考える。 ・寒いから窓はこんな形をしている。 ・釧路沖には暖流と寒流が交わる所があるからたくさん魚がとれる。 ・涼しい気候を生かして酪農も盛んだ。 ・冬の寒さ、雪も観光の見所でもある。</p> <p>○見つけた工夫（結びつき）と既習の事例地の特徴を比較し、気付いたことを話し合う。 ・沖縄や長野と同じように自然条件に合わせた家のつくりがある。 ・涼しい気候を酪農などに活かしている。 ・海流と水産業にも深い関係がありそうだ。 ・地形、気候を生かして産業を行っている。</p> <p>○ノートにふりかえりを書き、次回の学習の見通しを持つ。 ・最初の自分の考えと比べて… ・改めて釧路について調べてみて… ・友達の考えを聞いて…</p>	<p>□単元名を板書し、本時の課題を提示する。</p> <p>□釧路市周辺の自然条件から見た工夫と既習の事例地の工夫を比較しようとする姿勢を促す。 □既習の事例地を参考に、児童の発表を、思考ツールを活用して板書にまとめる。Ⅲ</p> <p>□既習の事例地で見つけた工夫（結びつき）を想起して、自然条件から関連させながら考えることができるようにする。Ⅲ</p> <p>□既習の2つの事例地の工夫について共通点を確認して提示する。Ⅲ-(1)</p> <p>□2つの事例地の工夫と、釧路市周辺のくらしの工夫について比較し、共通点を見つけられるようにする。Ⅲ-(1)</p> <p>肯考えの根拠となった部分を調べた資料や見つけた工夫から確認する。</p> <p>□自然条件という視点で地域の様子を見つめることで今まで気付かなかったそれぞれの地域の人々のくらしの工夫に気付くことができる。</p>	<p>【技イ】 発言・ワークシート</p> <p>▲事例地の特徴・関連を再確認し、4つの視点について整理、確認する。 △他の地域でも同じことが言えるのかを問い、課題解決にせまる。</p> <p>【思イ】 発言・ノート</p>